

○「斐伊川水系中海沿岸の減災に係る取組方針」に基づく取組の進捗状況(斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会)

具体的な取組の柱		目標時期	取組機関	主務	令和2年度末の達成状況 前倒しで実施：◎ 予定どおり実施：○ 作業中：△ 未着手：× R2年度 対象外：-	令和2年度に実施した内容	令和3年度に実施する内容 (予定)	備考
事項								
具体的取組		取組内容の詳細						
1. 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組								
■洪水及び高潮に対するハード対策の推進								
・中海湖岸堤整備	今後概ね5年間で整備する箇所 短期：西工業団地、葭津、江島、長海 中期：米子港、安来 中期：大海崎	順次実施	中国地整	中国地整(出雲河川)	○	整備計画に基づき順次実施する	整備計画に基づき順次実施する	
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備								
・水害に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備	CCTVの増設検討(大海崎ほか)、 水位情報の公表検討(本庄ほか)	H30年度	中国地整	中国地整(出雲河川)	○	危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラを追加で設置。	令和3年出水期までに設置完了予定	
・河川のリアルタイム映像の提供環境の整備及び避難行動等に資する水位予測等の精度向上	河川のリアルタイム映像の提供環境の整備(日野川とも連携) 避難行動等に資する水位予測等の精度向上(想定最大規模高潮の浸水シミュレーションの活用や気象台とも連携)	H28年度から検討実施	中国地整	中国地整(出雲河川)	○	米子市・境港市へのリアルタイム映像の提供環境の構築する 水位予測の精度向上を図った	水位予測等の精度検証を行う	
・防災情報の周知徹底	米子市：防災行政無線のデジタル化 境港市：防災行政無線のデジタル化、防災メール等 松江市、安来市、鳥取県、島根県：防災メール等 国：プッシュ型の洪水予報	H28年度から検討実施	協議会全体	米子市	○	防災ラジオの整備 令和3年1月12日から防災行政無線放送施設とFM局が連携 令和3年2月1日から米子市専用の自動起動機能付きラジオ放送 受信機の有償貸与の申込受付を開始	防災ラジオの整備	
				境港市	○	・引き続き、出前講座や市報、市HPを活用し、トリピーメールや防災アプリの登録促進やテレホンサービスの活用促進を図る。 ・防災行政無線のデジタル化を実施。 ・戸別受信機借用希望者への貸与。	・引き続き、出前講座や市報、市HPを活用し、トリピーメールや防災アプリの登録促進やテレホンサービスの活用促進を図る。 ・防災行政無線のデジタル化更新を令和3年3月31日に完了し、4月から運用開始予定	
				松江市	○	出前講座等で周知を図った。(令和2年度実績31回)	引き続き出前講座等で周知を図る。	
				安来市	○	出前講座等で周知を図るとともに行政告知端末の設置率の向上や、協定を締結しているヤフー株の「Yahoo!防災速報」の普及促進を図った。	引き続き、出前講座等で周知を図るとともに行政告知端末の設置率の向上や、協定を締結しているヤフー株の「Yahoo!防災速報」の普及促進を図る。	
				鳥取県	○	・防災行政無線の戸別受信機が未配備の自治体に対し、その整備などの対応を引き続き要請した ・引き続き、「あんしんトリピーメール」及び「あんしんトリピーなび」(令和元年度より多言語対応)の周知に努めた。	・防災行政無線の戸別受信機が未配備の自治体に対し、その整備などの対応を引き続き要請する ・引き続き、「あんしんトリピーメール」及び「あんしんトリピーなび」(令和元年度より多言語対応)の周知に努める。	
				島根県	○	警戒レベルに応じた行動について、出前講座や新聞「考える県政」等により周知を図った	提供している防災情報について、講演会等の機会を通じ周知する	
				気象台	○	・[R2.6.30]島根県水防(計画)研修において、県出先機関職員向けに、出雲河川事務所と共同で発表している斐伊川・神戸川の洪水予報について周知を図った。	出雲河川事務所と共同で発表している洪水予報について、出前講座等の際に周知を図る。	
				中国地整(出雲河川)	(完)			
・防災気象情報の改善	・大雨警報・注意報(浸水害)洪水警報・注意報等の基準についての評価及び検証	順次実施	気象庁	気象台	○	・洪水危険度分布において、本川の増水に起因する内水氾濫の危険度も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示する改善を行い、令和2年5月28日から運用開始。 ・大雨特別警報から大雨警報へ切り替え後、河川水位上昇や氾濫への警戒を呼び掛ける府県気象情報(洪水予報(臨時))を、河川管理者と共同して令和2年7月4日から発表開始。 ・新たな発表指標(土砂災害における短時間指標)を用いた、大雨特別警報の全国的な運用を令和2年7月30日から開始。 ・大雨警報(浸水害)、洪水警報等の基準について、新たな災害事例を追加した評価・検証による見直しを行い、令和2年8月6日から運用開始。 ・大雨特別警報の発表基準を、警戒レベルとの関連が分かりやすいよう、雨を要因とする基準に一元化し、令和2年8月24日から運用開始。 ・5日先までの高潮の警報級の可能性について、わかりやすいバーチャートを用いた図形式の気象情報等により、令和2年8月26日から提供開始。 ・24時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧の予報を、タイムライン支援のため、これまでの「1日先まで」から「5日先まで」に延長し、令和2年9月9日から運用開始。 ・気象庁ホームページの台風情報を、14か国語で9月16日から提供開始。	・大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プログラムの改善を随時実施し、HP等により公開する。	
■想定最大規模降雨の浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等								
・想定最大規模降雨における浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表	県管理河川の想定最大規模降雨における浸水想定区域図、 氾濫シミュレーションの公表	H28年度から検討実施	鳥取県	鳥取県	○	・加茂川・新加茂川について、氾濫シミュレーションを浸水ナビ(国土交通省)により公表した	—	
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等を発令する範囲の見直し	防災計画の見直し等、想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等を発令する範囲の見直し	米子市：県管理河川の洪水浸水想定区域図公表後より検討実施 境港市：H29年度から検討実施 松江市：県管理河川の洪水浸水想定区域図公表後より検討実施 安来市：県管理河川の洪水浸水想定区域図公表後より検討実施	鳥取県	鳥取県	○	—	—	
			米子市	米子市	○	・地域防災計画の見直しを検討	・引き続き、地域防災計画の見直しを検討	
			境港市	境港市	○	・津波・洪水ハザードマップ(R3.3修正。全戸配布) ・地域防災計画の見直しを実施中	・更新した津波・洪水ハザードマップでの周知を実施する ・地域防災計画の見直し中	
			松江市	松江市	○	ハザードマップを改正し、全戸配布。	引き続きハザードマップでの周知を実施する。	
			安来市	安来市	△	・地域防災計画の見直しを検討。	・引き続き地域防災計画の見直しを検討。	

○「斐伊川水系中海沿岸の減災に係る取組方針」に基づく取組の進捗状況(斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会)

具体的な取組の柱		目標時期	取組機関	主務	令和2年度末の達成状況 前倒しで実施：◎ 予定どおり実施：○ 作業中：△ 未着手：× R2年度 対象外：-	令和2年度に実施した内容	令和3年度に実施する内容 (予定)	備考		
事項	具体的取組	取組内容の詳細								
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所へ配付		想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所へ配付	米子市 境港市 松江市、安来市：県管理河川の洪水浸水想定区域図公表後より検討実施 安来市：県管理河川の洪水浸水想定区域図公表後より検討実施	米子市 境港市 松江市 安来市	米子市：H31年度から検討実施	米子市	・洪水ハザードマップでの周知を実施 ・洪水ハザードマップ住民説明会の実施	・出前講座等の機会を活用して洪水ハザードマップの更なる周知を図る		
					境港市：H28年度から検討実施	境港市	○	・令和3年2月、津波・洪水ハザードマップを見直して修正を実施 ・出前講座等でハザードマップの内容を説明する	・令和3年4月の市報に津波洪水ハザードマップを綴りこみ全戸配布 ・出前講座等でハザードマップの内容を説明する	
					松江市：国からの資料提供や手法の指導の後より順次実施	松江市	○	ハザードマップ(防災ガイドブック)を改正し、全戸配布。	配布した防災ガイドブックを活用し、出前講座等でハザードマップの内容を説明する。	
					安来市：国からの資料提供や手法の指導の後より順次実施	安来市	×	ハザードマップの更新について検討を行った。	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの更新を行い、各戸・事業所へ配布する。	
・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供		洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供	米子市 境港市 松江市 安来市	米子市：県管理河川の洪水浸水想定区域図公表後より検討実施	米子市	○	引き続き、避難計画作成等の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供を行う	計画未策定施設への支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供を行う		
				境港市：国からの資料提供や手法の指導の後より順次実施	境港市	△	・引き続き、避難計画作成に係る支援を行う	・引き続き、避難計画作成に係る支援を行う		
				松江市：国からの資料提供や手法の指導の後より順次実施	松江市	○	計画未策定施設への引続きの支援を実施する定住外国人を対象とした防災研修会についてはコロナ禍のため中止。	計画未策定施設に対する説明会を実施する。		
				安来市：国からの資料提供や手法の指導の後より順次実施	安来市	○	避難計画作成の支援を行った。	避難計画作成の支援を行う。		
・夜間、荒天時における避難勧告等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討		夜間、荒天時における避難勧告等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討	米子市 境港市 松江市 安来市	米子市：H28年度から検討実施	米子市	△	引き続き、検討する	引き続き、検討する		
				境港市：H29年度から検討実施	境港市	△	引き続き、検討する。	引き続き、検討する。		
				松江市：H30年度	松江市	△	避難勧告等の判断・伝達マニュアルを修正検討をおこなった。防災情報システムの活用を検討。	引き続き避難指示等の判断・伝達マニュアルを修正する。防災情報システムの活用を検討する。		
				安来市：H29年度から検討実施	安来市	△	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル修正時に検討	・引き続き避難指示等の判断・伝達マニュアル修正時に検討する。		
・中海沿岸の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾水害を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施		上流と合同で、中海沿岸の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模水害を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	H29年度から実施	協議会全体	米子市	△	コロナ禍の状況に鑑み、企業への働きかけを行っていない。	可能な限り、企業への働きかけを行う。		
					境港市	—	特になし	予定なし		
					松江市	○	松江ライオンズクラブと連携し、防災イベントを実施した。	コロナウイルス感染状況をみながら出前講座等で啓発を行う。		
					安来市	○	商工会議所や商工会を通して企業への啓発を行った。	商工会議所や商工会を通して企業への啓発を行う。		
					鳥取県	—	商工会議所等と連携した講習会等の実施なし	引き続き、沿川自治体と協力し、商工会議所を通じて企業への働きかけを行う		
					島根県	—	他機関からの開催要請なし	他機関での開催に協力する		
					気象台	△	講習会及び訓練参加の依頼なし。	他機関での開催に協力する。		
中国地整(出雲河川)	—	講習会及び訓練参加の依頼なし	引き続き、沿川自治体と協力し、商工会議所を通じて企業への働きかけを行う							
■多様な防災活動を含むタイムラインの作成										
・河川管理者、沿岸自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの策定	上流と同様に別途検討会を立ち上げ、河川管理者、沿岸自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインを策定する	H30年度	協議会全体	中国地整(出雲河川)	○	タイムライン(素案)の作成を行った	タイムライン勉強会の実施			
■防災教育や防災知識の普及										
・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知		市のウェブサイト、出前講座、水防連絡会等を通じ、「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知を図る	市：H28年度から順次実施 県、国：H28年度から定期的に実施	協議会全体	米子市	○	引き続き、HP等を利用して活用促進のための周知を図る	引き続き、HP等を利用して活用促進のための周知を図る		
					境港市	○	引き続き、市HPや出前講座等で活用促進のための周知を図る	引き続き、市HPや出前講座等で活用促進のための周知を図る		
					松江市	○	引き続き出前講座等にて情報提供を行う。	市HPや出前講座等で情報提供を行う。		
					安来市	○	出前講座等にて情報提供を行った。	引き続き市HPや出前講座等で情報提供を行う。		
					鳥取県	○	水防連絡会、出前講座、要配慮者利用施設点検時等において周知した	引き続き、水防連絡会、要配慮者利用施設管理者および市町村担当者への説明会等で周知する		
					島根県	○	出前講座、水防研修等により周知を図った	引き続き、出前講座、水防研修等により周知する		
					気象台	○	出前講座等実施の際、防災気象情報等の入手先のひとつとして「川の防災情報」を紹介した。	出前講座等実施の際、防災気象情報等の入手先のひとつとして「川の防災情報」を紹介する。		
					中国地整(出雲河川)	○	洪水予報連絡会で周知した 出前講座等の実施依頼なし	洪水予報連絡会、出前講座等で周知する		
・小中学校などと連携した中海沿岸の水害の特徴を踏まえた防災教育の拡充		出前講座等を活用した防災教育を実施するとともに、学校教育関係者向け研修や講座等学習の場へ参加 中海の特性に合わせた教材等の作成	H28年度から順次実施	協議会全体	米子市	○	引き続き出前講座を実施 今年度の防災キャンプは中止となった。	防災キャンプの実施支援 教育委員会と連携手法等を検討する。		
					境港市	○	・教育委員会と連携手法等を検討し、実施する。 ・上道小学校4年生に対する防災講座の中で、洪水(水害)について実施	・教育委員会等と連携手法等を検討して実施する。		
					松江市	○	国土交通省と共同で島大付属小への防災授業を実施した。(10月27日)	引き続き学校での防災学習を実施する。		
					安来市	○	防災学習のサポートを行った。(中学校3回)	引き続き防災学習のサポートを行う。		
					鳥取県	○	出前講座等を活用した防災教育を実施した。	引き続き、沿川自治体と協力し、学校教育関係者向け研修や講座等学習の場への参加を働きかけを行う。		
					島根県	○	平田保育所(R2.8.26)、みなみ保育所(R2.11.27)に出前講座を実施	協議会での取組に協力する		
					気象台	△	水害に直接係わる出前講座等の実施依頼なし。	小中学校向けに出前講座等を実施し、防災知識の普及啓発を図る。		
					中国地整(出雲河川)	○	中海を題材とした防災教育教材の作成を実施 出前講座等の実施依頼なし	・小中学校などで出前講座を実施する		

○「斐伊川水系中海沿岸の減災に係る取組方針」に基づく取組の進捗状況(斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会)

具体的な取組の柱		目標時期	取組機関	主務	令和2年度末の達成状況 前倒しで実施 : ◎ 予定どおり実施 : ○ 作業中 : △ 未着手 : × R2年度 対象外 : -	令和2年度に実施した内容	令和3年度に実施する内容 (予定)	備考
事項	取組内容の詳細							
・住民の水防意識の向上に資する出前講座等を活用した防災知識の普及	地域住民等を対象とした出前講座等を活用し防災知識の普及を図る	H28年度から定期的に実施	協議会全体	米子市	○	引き続き出前講座を実施	引き続き出前講座を実施	
				境港市	○	新型コロナの状況を見つつ、できる範囲で出前講座等を実施した。	新型コロナの状況を見つつ、出前講座等の開催を検討する。	
				松江市	○	出前講座を実施した。(令和2年度31回) 市民ひとりひとりのマイタイムラインの作成に向け、防災ガイドブックに掲載し、配布。	引き続き出前講座を実施する 市民ひとりひとりのマイタイムラインの作成に向けた講習会等を実施する。	
				安来市	○	引き続き出前講座を実施した。(12回)	引き続き出前講座を実施する。	
				鳥取県	○	地域住民等を対象とした出前講座や工事説明会等を活用して防災知識の普及を図った。	引き続き、地域住民等を対象とした出前講座や工事説明会等を活用して防災知識の普及を図る。	
				島根県	-	出前講座等を実施	出前講座等を活用し、防災教育の支援を行う	
				気象台	△	地域住民向け出前講座等の実施依頼なし。	地域住民向けに出前講座等を実施し、防災知識の普及啓発を図る。	
				中国地整(出雲河川)	-	・出前講座等の依頼なし	・地域住民等を対象とした出前講座等を活用し防災知識の普及を図る。	
・地域防災リーダーの育成	市：講習会等を開催し、地域防災リーダーを育成 県、国：研修への参加及び必要に応じて研修講師の派遣	H28年度から定期的に実施	協議会全体	米子市	○	防災リーダーの育成も兼ねた研修会を開催及び防災士の取得支援	引き続き、防災リーダーの育成も兼ねた研修会を開催及び防災士の取得支援を行う	
				境港市	○	引き続き、防災士の資格取得を支援することで、地域防災リーダーの育成を図る	引き続き、防災士の資格取得を支援することで、地域防災リーダーの育成を図る	
				松江市	○	県が実施する研修に参加を呼び掛けた(11月28日、29日益田市：参加者2名) 市主催の地域防災リーダー研修の開催はコロナ禍のため中止。 防災士取得促進補助金の交付(今年度取得10人)。	引き続き国・県が実施する研修に参加を呼び掛ける 引き続き市主催の地域防災リーダー研修を開催する 引き続き防災士取得の促進をする	
				安来市	○	・防災士の資格取得を支援することで、地域防災リーダーの育成を図った。(県が主催する研修参加者3名) ・リーダー研修会など県が実施する研修への参加を呼びかけを行った。	・引き続き防災士の資格取得を支援することで、地域防災リーダーの育成を図る。 ・引き続きリーダー研修会など県が実施する研修への参加を呼びかけを行う。	
				鳥取県	○	・防災士養成研修、地域防災リーダースキルアップ研修等を実施した。 ・鳥取県防災・危機管理対策交付金で市町村を支援した	引き続き、防災士養成研修等を実施する ・引き続き、鳥取県防災・危機管理対策交付金で市町村を支援する。	
				島根県	○	地域の防災意識向上や自主防災活動の活性化を図るため、自主防災組織リーダー研修を11月28～29日に実施した。今後、防災士養成研修を2月13～14日に実施する。	引き続き、避難所運営リーダー養成研修及び、防災士養成研修、自主防災組織リーダー研修を実施する	
				気象台	○	・[R2.6.23]松江地区防災関係機関連絡会議において、防災気象情報の利活用と改善に関する知識の普及を実施した。	関係機関が主催する自主防災組織向けの研修会に講師を派遣する。	
				中国地整(出雲河川)	-	・研修講師の派遣依頼なし	・研修への参加及び必要に応じて研修講師を派遣する	
・河川管理に従事している職員の説明能力向上のための研修の実施	県、国：河川管理に従事している職員の説明能力向上のための研修を行い、専門知識の向上を図る 気象台：中国地整や県と連携して、研修等に講師を派遣し、気象に関する知識の向上を図る 市：県や国の主催する研修等に参加し、説明能力の向上を図る	H28年度から定期的に実施	協議会全体	米子市	○	国や県の主催する研修等に積極的に参加する	国や県の主催する研修等に積極的に参加する	
				境港市	○	国や県の主催する研修等に積極的に参加する	国や県の主催する研修等に積極的に参加する	
				松江市	○	鳥根県主催「河川実務研修」に参加。9/7(9～16時 県職員会館)	引き続き国や県の主催する研修等に積極的に参加する	
				安来市	○	国や県の主催する研修等に積極的に参加した。	引き続き国や県の主催する研修等に積極的に参加する。	
				鳥取県	○	災害対策基本法に係る助言に関する説明会を実施(コロナ対策により書面開催)	引き続き、災害対策基本法に係る助言に関する説明会を実施する	
				島根県	○	河川実務研修等を実施した	引き続き河川実務研修等を実施し専門知識の向上を図る	
				気象台	○	・[R2.6.30]島根県水防(計画)研修において、県出先機関職員向けに、出雲河川事務所と共同で発表している斐伊川・神戸川の洪水予報について周知を図った。	関係機関が主催する研修等に講師を派遣し、気象に関する知識の向上を図る。	
				中国地整(出雲河川)	○	・研修講師の派遣依頼なし	・研修への参加及び必要に応じて研修講師を派遣する	
・市長に対し助言を行う者の育成・派遣	県、国：防災に精通した市職員の育成や、洪水時・平常時に助言を行うアドバイザーの育成・派遣について研修等を行う 気象台：中国地整や県と連携して、研修等に講師を派遣し、気象に関する知識の向上を図る 市：県や国の主催する研修等に参加し、防災に精通した市職員の育成を図る	H28年度から定期的に実施	協議会全体	米子市	○	引き続き、研修会等に積極的に参加する	引き続き、研修会等に積極的に参加する	
				境港市	○	引き続き、研修会等に積極的に参加する	引き続き、研修会等に積極的に参加する	
				松江市	○	神戸市で開催された防災研修にリモート参加をした。	引き続き、研修会等に積極的に参加する。	
				安来市	○	研修等へ積極的に参加した。	引き続き、研修等へ積極的に参加する	
				鳥取県	○	水防連絡会に参加した(書面開催)	・引き続き、水防連絡会に参加する	
				島根県	○	水防研修を実施した	引き続き水防研修会等を開催する	
				気象台	○	・[R2.6.30]島根県水防(計画)研修において、県出先機関職員向けに、出雲河川事務所と共同で発表している斐伊川・神戸川の洪水予報について周知を図った。	関係機関が主催する研修等に講師を派遣し、気象に関する知識の向上を図る。	
				中国地整(出雲河川)	○	・研修講師の派遣依頼なし	・研修への参加及び必要に応じて研修講師を派遣する	
2. 中海の浸水特性に応じた効果的な水防活動及び施設運用の取組								
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備								
・水害に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備(再掲)	CCTVの増設検討(大海崎ほか)、 水位情報の公表検討(本庄ほか)	H30年度	中国地整	中国地整(出雲河川)				
・河川のリアルタイム映像の提供環境の整備及び避難行動等に資する水位予測等の精度向上(再掲)	河川のリアルタイム映像の提供環境の整備(日野川とも連携) 避難行動等に資する水位予測等の精度向上(想定最大規模高潮の浸水シミュレーションの活用や気象台とも連携)	H28年度から検討実施	中国地整	中国地整(出雲河川)				

○「斐伊川水系中海沿岸の減災に係る取組方針」に基づく取組の進捗状況(斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会)

具体的な取組の柱		目標時期	取組機関	主務	令和2年度末の達成状況 前倒しで実施 : ◎ 予定どおり実施 : ○ 作業中 : △ 未着手 : × R2年度 対象外 : -	令和2年度に実施した内容	令和3年度に実施する内容 (予定)	備考
事項		取組内容の詳細						
具体的取組								
・防災情報の周知徹底(再掲)		米子市: 防災行政無線のデジタル化 境港市、松江市、安来市、鳥取県、島根県: 防災メール等国: プッシュ型の洪水予報	H28年度から検討実施	協議会全体	米子市 境港市 松江市 安来市 鳥取県 島根県 気象台 中国地整(出雲河川)			
■効果的な水防活動及び水防体制の強化								
・中海沿岸の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼任する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施		鳥取県、出雲河川: 中海沿岸の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼任する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施 市: 合同点検に参加	H28年度から定期的実施	米子市 境港市 松江市 安来市 鳥取県 島根県 中国地整	中国地整(出雲河川)	○	新型コロナ感染防止のため資料配付のみ実施。	出水期までに、県、市の担当者や災害応急対策活動等に関する基本協定締結業者等が参加する重要水防箇所の合同点検を実施する
・備蓄水防資機材情報の共有、非常時の相互支援方法の確認		水防連絡会等を活用し、備蓄水防資機材情報の共有、非常時の相互支援方法の確認を出水期前に実施	H29年度から定期的実施	米子市 境港市 松江市 安来市 鳥取県 島根県 中国地整	中国地整(出雲河川)	○	・支援物資情報を共有する	保有資材の種類、数量、保管場所について、水防連絡会を利用し関係者に周知(保管場所への大型車両の進入可否等の情報も整理)
■施設運用の確実な実施								
・排水施設の操作説明会の実施		出雲河川: 排水門操作員へ排水施設の操作説明会を実施 鳥取県: 排水門操作員からの求めがあれば、排水施設の操作説明会を実施 市: 排水門操作員からの求めがあれば、国又は県へ操作説明会を依頼	順次実施	米子市 境港市 松江市 安来市 鳥取県 島根県 中国地整	米子市 境港市 松江市 安来市 鳥取県 島根県 中国地整(出雲河川)	— ○ ○ ○ ○ — ○	操作員からの要望に応じて実施する ・出雲河川事務所の計画による排水門操作(電動)講習に参加 ・操作員からの要望に応じて実施する 操作員に対し、国交省専門の操作説明会を実施した。 新規設置施設の操作説明会を実施した。 操作員からの要望に応じて実施した。 職員による排水ポンプ車の操作訓練等実施した 操作員等からの要請なし 出水期前に委託先である市と操作員合同で現地操作説明会を実施した。	操作員からの要望に応じて実施する ・出雲河川事務所等の計画による講習等に参加する ・操作員からの要望に応じて実施する 引き続き操作員からの要望に応じて実施する。 引き続き操作員からの要望に応じて実施する 引き続き、操作員からの要望に応じて実施する 職員による排水ポンプ車の操作訓練等実施する 操作員等からの要請に応じて説明会を実施する 出水期前に委託先である市と操作員合同で現地操作説明会を実施する。
3. 予測しづらい高潮への対応能力を高める取組								
■高潮に対するハード対策の促進								
・中海湖岸堤整備(再掲)		今後概ね5年間で整備する箇所 短期: 西工業団地、葭津、江島、長海 短中期: 米子港、安来 中期: 大海崎	順次実施	中国地整	中国地整(出雲河川)	○	・整備計画に基づき順次実施する	・整備計画に基づき順次実施する
■想定最大規模高潮における浸水シミュレーションの実施・公表等								
・高潮の予測・予報手法の検討		シミュレーションモデルを活用した高潮の予測・予報手法を検討	H28年度から検討実施	国交省	中国地整(出雲河川)	○	公表に向けた説明資料を作成	公表に向けて関係市町と調整を実施する。
・想定最大規模高潮における浸水シミュレーションの実施・公表		想定最大規模高潮における浸水シミュレーションの実施・公表	H29年度	国交省	中国地整(出雲河川)	○	公表に向けた説明資料を作成	公表に向けて関係市町と調整を実施する。
○新たな取組								
報道機関との連携		・報道機関との懇談会をweb会議にて主催し、水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化する。	R2年度から定期的実施	気象庁	気象台	○	・【R2.7.30】第1回開催(テーマ: 令和2年7月豪雨、梅雨明け) ・【R2.10.27】第2回開催(テーマ: 洪水)鳥取地方気象台と共催	定期的な開催を継続実施する。